

大学図書館アクセシビリティチェックリスト(暫定版)

種類	項目	Yes	No	不明	対象外
A 館外	出入口近くに駐車場がある。				
	駐車場に障害者マークが記載された十分な駐車スペースがある。				
	駐車場への誘導表示がある。				
	出入口までの経路に障害物がなく、明るい。				
	出入口までの通路には2cm以上の段差やでこぼこ(砂利や石など)はない。				
	出入口までの通路にコントラストが明確な(黄色など)点字誘導ブロックがある。				
	手すりが付いた、なだらかで滑りにくいスロープがある。				
	スロープの周辺には自転車等で妨げられない工夫をしている。				
気づき コメント					
B 入口	入口のドアは自動で開閉する				
	入口のドアは車いすが通れるくらいの広さがある。				
	車いすが回れるようにドアの前に十分なスペースがある。				
	自動ドアのタッチスイッチがある場合は車いすの人が届く。				
	車いすが簡単に動けるようにドアの段差がない。				
	視覚障害の人がわかるように、ガラスのドアにマークがついている。				
	入口から入館ゲートまでの経路はコントラストが明確な(黄色など)点字誘導ブロックなどで誘導されている。				
	車いすや歩行器、その他の歩行補助機器を使っている人が入館ゲートを通ることができる。				
	入口にインターフォンがある。				
気づき コメント					
C エレベーター	エレベーターの場所が分かるようなピクトグラムのサインがある。				
	エレベーターまでの経路はコントラストが明確な(黄色など)点字ブロックなどで誘導されている。				
	エレベーターは必要な階に停止する。				
	エレベーター内は十分に明るい。				
	点字によるボタンと音声での案内がある。				
	エレベーター内、および乗降ロビーに車いす使用者が利用しやすいボタンがある。				
	エレベーター内に停止予定階・現在位置を表示する装置がある。				

種類	項目	Yes	No	不明	対象外
	ドアは車いすが通れるくらいの広さがある。				
	車いすが回れるような十分なスペースがある。				
気づきコメント					
D トイレ	トイレの場所が分かるようにピクトグラムが記載された分かりやすいサインがある。				
	車いすが入れるような広さのドアがある。				
	車いすが方向転換でき、便器の横に車いすを止めておくことができる十分な広さがある。				
	ドアは引き戸もしくは自動式引き戸である。自動式引き戸の場合、ボタンは軽い力で開閉できる。				
	腰掛便座、手すり等が適切に配置されている。				
	便器洗浄ボタンは立位、座位（便座から・車いすから）で押せる。				
	呼び出しボタンがあり、便座に座った状態で手の届く位置にある。				
	洗面台と鏡がある場所が十分に明るい。				
	洗面台は簡単に操作できる。				
	洗面台は立位でも車いすに座った状態でも使用できる。				
	トイレ内に荷物置き場、あるいは荷物をかけるフックがある。				
	オストメイト対応の水洗器具がある。				
	フィッティングボードが設置されている。				
	床はすべりにくい素材である。				
	トイレの施錠/開錠は色弱でも見分けられるようになっている。				
気づきコメント					
E 階段	階段の両側に手すりがある（踊り場を除く）。				
	表面は滑りにくい仕上げである。				
	段は識別しやすく、つまずきにくい。				
	段部分の上端に近接する踊り場の部分に点状ブロック等がある。				
	原則として主な階段は回り階段ではない。				
気づきコメント					

種類	項目	Yes	No	不明	対象外
F サイン・案内	入口に図書館の全体を概観できる館内案内図やフロアマップがある。				
	各階の分かりやすい位置にその階に何があるかを示すフロアマップがある。				
	館内案内図やフロアマップに点字が併記されている。				
	避難経路のサインはどこからでもわかるように掲示されている。				
	サインは大きく見やすい。				
	サインは見やすい場所に掲示されている。				
	文字のフォント(ゴシック系など)と大きさは読みやすい。				
	ピクトグラムが使われて(併用されて)いる。				
	専門用語を使わず、できるだけ分かりやすい表現や言葉が使われている。				
	色の見え方が一般と異なる人にも情報がきちんと伝わるようカラーユニバーサルデザインに配慮している。				
	多言語表記(日本語と英語など)されている。				
	サインや案内図のフォントやデザインは統一されている。				
	気づき コメント				
G 書架・通路	書架の間や通路に障害物がない。				
	車いすや高齢者に配慮した排架をしている(高いところや低いところに排架しない)				
	車いすが回れるように書架の間は十分なスペースがある。				
	音が鳴り、目で確認することができる火災報知機を備えている。				
	緊急時の警報器は車いすでも届く高さにある。				
	書架や通路に十分な明るさがある。				
	展示物や掲示物等は視覚障害者がぶつからないように設置の場所や掲示板を目立たせる等の工夫がされている。				
気づき コメント					
H スペース	館内のスペースはシンプルで明確に区分されており、分かりやすい配置になっている。				
	図書や雑誌の配置や並び方は構造化され、シンプルで明確に区分されている。				
	障害がある利用者が支援者と一緒に学習や研究ができるスペースがある。				
	静かな環境で集中して学習や研究ができるスペースがある。				
気づき コメント					

種類	項目	Yes	No	不明	対象外
I 機器	視覚障害等がある利用者のためにスキャナや拡大読書器、大型ディスプレイなどを備えている。				
	アクセシビリティに配慮し、必要なソフトウェアが使えるコンピュータを備えている。				
	車いすの利用者が使うことができる、あるいは、高さが調節可能な学習・閲覧用の机がある。				
	拡大鏡（ルーペ）や老眼鏡を用意している				
気づき コメント					
J サービス	支援を必要とする利用者のために、どのようなサービスを図書館が提供しているのかを館内掲示、印刷資料、ウェブサイトなどで確認できる。				
	来館が困難な利用者が来館せずに資料を借りることができる。				
	書庫や書架の利用が困難な利用者が資料をカウンターで受け取ることができる。				
	アクセシブルな電子書籍や電子ジャーナルを積極的に購入している。				
	必要とする資料を必要とする形式で図書館が購入するためのリクエストができる。				
	視覚障害等がある利用者のために図書館資料（紙媒体）を電子化して提供している。				
	視覚障害等がある利用者のために図書館資料を音声化して提供している。				
	自館以外の図書館が提供している障害がある利用者向けのサービス（国会図書館、サピエ図書館、公立図書館など）についての案内がある。				
	障害がある利用者向けのガイダンスを実施している。				
	必要な支援を図書館にリクエストできる仕組みがある。				
	図書館員が必要な支援やサービスについて理解している。				
カウンターに「利用にお困りの方からの相談を受け付けています」などの案内がある。					
気づき コメント					

種類	項目	Yes	No	不明	対象外
K コミュニケーション	カウンターに筆談の準備とその表示がある				
	館内で掲示している、あるいはウェブサイトに掲載している説明やお知らせは、内容が整理されており、無駄な情報を省いている。				
	館内で掲示している、あるいはウェブサイトに掲載している説明やお知らせは、短い文を使って明確、かつ正確に表現している。				
	館内で掲示している、あるいはウェブサイトに掲載している説明やお知らせは、順序立てて説明がしてあり、手順が理解できるようになっている。				
	館内で掲示している、あるいはウェブサイトに掲載している説明やお知らせは、図やイラストなどを用いて視覚的に分かりやすく表現している。				
	館内で掲示している、あるいはウェブサイトに掲載している説明やお知らせは、色の見え方が一般と異なる人にも情報がきちんと伝わるようカラーユニバーサルデザインに配慮している。				
気づき コメント					